

佐渡市社会福祉協議会 ふくボラ出前塾 プログラム一覧

※所要時間はおおよその時間です。1コマは約45分程度で設定しています。

分野	No.	メニュー	所要時間	ねらい	内容例
高齢	1	年をとることによる身体の変化を知ろう (高齢者疑似体験)	2コマ	疑似体験を通して高齢者を理解し、高齢者への接し方を考える。	・高齢者の身体的特徴について ・疑似体験(体験セットをつけ、自分の体との違いや介助者の視点を知る。) ・振り返り(体験から高齢者の接し方を考える。)
	2	認知症サポーター養成講座	2コマ	認知症を知り、認知症の方の接し方を学ぶ。	・認知症とは、ビデオ鑑賞 ・寸劇「あなたならどうする」(クイズ形式の事例をもとに、認知症の方への接し方を考える) ・絵本の紹介
障がい	3	車イス体験	2コマ	車イスやその用途を知り、車イスの実体験を通じて、その生活について考える。	・車イスを知ろう(各部位の名称・基本操作方法、介助するときの心構え) ・車イス体験(乗車体験・介助体験) ・振り返りと発展(困ったことを話し合い、車イス利用者の接し方やバリアフリー、自分のできることを考える。)
	4	障がいの理解	1コマ	障がいをお持ちの方から話を聴き、障がいについて理解を深める。	・講話(普段の生活、体験談、周りの方をお願いしたいこと等) ・振り返り
	5	補助犬を知ろう	2コマ	障がい者のパートナーである補助犬について学ぶ。	・補助犬とは ・デモンストレーション ・振り返りと発展(補助犬の普及活動に自分のできることを考える)
	6	アイマスク体験	2コマ	アイマスク体験から、視覚障がい者の理解を深め、自分ができていることを考える。	・視覚障がいとは、目の不自由な方への接し方 ・アイマスク体験(2人1組で視覚障がいの疑似体験) ・振り返りと発展(困ったこと、できたことを話し合い、目の不自由な方との接し方や自分のできることを考える。)
	7	点字講習	1コマ	コミュニケーション手法の1つである点字を学び、視覚障がい者を理解する。	・障がいを持つ方の講話 ・身近な点字物からバリアフリーやユニバーサルデザインを知る
	8	音訳講習	2コマ	音声で情報を伝える音訳を学ぶ。※音訳:視覚に障がいがある方へ広報誌などを読み上げてCDに録音する。	・音訳とは ・音訳ボランティアを体験してみよう ・目の見えない人の立場になってCDを聞いてみる
	9	手話講習	2コマ	コミュニケーション手法である手話を学び、聴覚障がい者を理解する。	・障がいを持つ方の講話 ・実際に手話を学ぼう(挨拶や日常的に使える手話)
	10	知的・精神障害について	1コマ	事例をもとに障がいをお持ちの方の接し方を学び、障がいについて理解を深める	・講話(事例をもとに、知的障がい・精神障がいをお持ちの方の接し方や障がいの特性を学ぶ。) ・振り返り
介護	11	介護体験	2コマ	介護実技から、介護される方の立場を知り、介護する際の基本的姿勢や視点を考える。	・介護とは、自立支援の視点、高齢者や障がい者の特性について ・介護体験 ・振り返り
	12	介護保険	2コマ	介護保険の制度について学び、介護保険サービスとボランティアによる個別支援を考える。	・介護保険制度について(概要、仕組みなど) ・振り返り
ボランティア	13	ボランティア	1コマ	ボランティア活動について学び、自分たちが出来る活動について考える。	・ボランティアとは(ボランティア3原則、ボランティアの種類等。) ・ボランティアさんの体験談 ・振り返り
	14	災害ボランティア	1コマ	日本各地で起きた災害を知り、災害が起きたときにどのように動かし、日頃から出来る備えについて考える。	・防災への取り組みを知る ・災害ボランティア活動の種類 ・私たちにも出来るボランティアは? ・災害ボランティア、災害ボランティアセンターとは ・日頃から出来る取り組み
	15	傾聴ボランティア	1コマ	思いやりの第一歩は、相手の話にこころとからだを傾け真剣に聴くこと。 (=傾聴)傾聴のポイントを知る。	・傾聴とは ・テーマに沿った傾聴の練習
地域福祉	16	地域での福祉の取り組み	1コマ	佐渡にある福祉施設の役割、地域での福祉に関する活動を知る。	・島内の福祉施設を知る(施設の種類や役割、働く職員など) ・地域福祉事業を知る(住民主体の福祉活動、社協の取り組みなど)
	17	見守り活動	1コマ	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域における見守り活動の重要性を考える。	・社協事業における見守り活動を知る。(社協みまもり安心パック、支え合いマップづくり) ・地域で出来る見守り活動について。

🔄 裏面に続く

その他	18	福祉施設の見学	2コマ	施設の役割や機能を理解する。	・施設見学 ・施設職員の話(高齢者、障がい者福祉施設について)
	19	赤い羽根共同募金について	1コマ	募金の仕組みや必要性を知り、募金活動を通じた助け合いの大切さを考える。	・募金の流れや仕組み、地域の課題を知る。 ・募金が如何にして地域の中で役立てられているかを知り、募金活動を通じた助け合いの大切さを考える。
	20	成年後見制度	1コマ	成年後見制度を学ぶ(入門編、応用編)	・成年後見制度について ・振り返り
	21	高齢者のためのスマホ講座	1コマ	手軽なSNS(ソーシャルネットワークサービス)であるLINEの使い方を学び、地域の集いの場などで活用する。	・LINEを始める準備をしよう ・トークをしてみよう ・グループを作ってみよう
	22	お金の使い方講座	1コマ	青少年から大人まで、各年代別に合わせた「お金」に関する学びをとおして、トラブル等を防ぐ。	・お金の使い方 ・マネートラブル防止(投資詐欺、闇バイト等)

★連続講座プログラム例

※下記のようにプログラムの組み合わせもできますのでお気軽にご相談下さい。

【高齢者や障がいを持つ方との交流】

※所要時間は各段階で2コマ程度

①体験(高齢者疑似、車イス等)

- ・体験を行い、身体の変化や相手の立場に立って考えることの大切さを学ぼう！



②体験をした後、交流の内容を決める

- ・体験で感じたこと、気づいたことを踏まえて、交流内容を決める。



③交流、施設訪問(又はオンライン交流)

- ・地域の居場所や施設で交流しよう！
- ・地域にどんな人がいるのか知るきっかけに。

【障がいや補助犬を地域の人に知ってもらうには？】

※所要時間は各段階で2コマ程度

①当事者のお話(聴覚、視覚障がい等)

- ・障がいや、日常生活について聞いてみよう！



②身体障がい者補助犬について

- ・補助犬の役割や周囲が注意するは何だろう。
- ・障がいや補助犬を様々な人に理解してもらうために自分たちができることを考えてみよう！

③地域の人々に知ってもらおう！

- ・児童が周知のために考えたことにチャレンジ！
(チラシ、ポスター、テレビ、SNSなど)